

内科 漢方内科

病棟

外来 外来診療棟A 2F 連絡先 022-717-7736 (外来)

ホームページ http://www.hosp.tohoku.ac.jp/sinryou/s07_kanpou.html



科長
石井 正 教授

主な対象疾患

- 冷え症・ほてり、のぼせ・倦怠感、食欲不振
- 虚弱体質
- しびれ、痛み
- 月経に関連する諸症状
- 更年期に関連する諸症状
- 膠原病に伴う症状
- 加齢に伴う症状
- 慢性的な消化器症状
- がん治療のサポート

診療内容

漢方の源流は中国伝統医学で、凡そ二千年の歴史があります。漢方の診察は、望診(視る)・聞診(聞く、嗅ぐ)・問診(話を聞く)・切診(触る)といわれる診察方法により行われ、漢方独自の理論体系に基づいて診断が下されます。この診断をもとに、西洋医学による治療だけでは十分な回復が得られない方々に漢方による併用治療を行っています。

漢方内科では漢方薬及び鍼灸治療を実践しています。漢方薬による治療は、エキス剤と煎じ薬を用いて行っています。エキス剤はあらかじめ決められた分量で服用しやすいように包装されたものを処方し、煎じ薬は患者さんの症状にあわせて各々の生薬を独自に配合し、煎じてから内服します。鍼灸治療はツボに鍼や灸で刺激を加えて筋肉痛や関節痛を緩和しますが、時には内臓や精神的な症状にも用いられます。診断と治療がびたりと一致した時に、これらの治療は著効を示します。最近では、冷え症の患者さんが増えており、漢方薬特有の「体を温めてエネルギーを巡らせる治療」で症状が軽減する症例を数多く経験しています。また、シールタイプで皮膚に貼れる極小鍼を使用し、鍼治療時の痛みを伴わずゆっくりと治療ができる方法も取り入れています。さらに、高齢者の歩行障害、排尿障害など加齢とともに生じる様々な機能低下に対しての治療も行っております。



漢方内科集合写真

ご紹介いただく際の留意事項

■ 外来診療について

漢方内科では初診の方も全てご予約をいただいております。受診を希望される方はあらかじめ地域医療連携センターにお申込みください。また、再来診察の予約調整については漢方内科外来022-717-7736にお電話ください。

診療体制

日本東洋医学会漢方指導医2名 日本東洋医学会漢方専門医6名
 日本外科学会外科専門医1名 日本消化器外科学会専門医1名
 日本内科学会総合内科専門医2名 日本内科学会認定内科医8名
 日本循環器学会循環器専門医1名 日本呼吸器学会呼吸器専門医1名
 日本形成外科学会専門医1名 日本耳鼻咽喉科学会専門医1名
 日本腎臓学会腎臓専門医1名 日本産婦人科学会産婦人科専門医1名
 日本温泉気候物理医学会温泉療法専門医1名 小児科専門医1名
 日本麻酔科学会麻酔科専門医1名
 日本集中治療医学会集中治療専門医1名
 上記の専門医を有する医師が、各領域の専門性を取り入れて漢方診療を行っています。

得意分野

漢方の治療対象となる疾患・症状は診療科横断的であり、がん化学療法に伴う手足のしびれや倦怠感、脳血管障害の後遺症、神経難病、膠原病、炎症性腸疾患、アトピー性皮膚炎など様々な病態に対し、西洋医学による治療だけでは満足な回復が得られない方々に漢方や鍼灸による併用治療を行っています。

当科では漢方治療の科学的検証も積極的に進めています。最近では、「脳血管障害後遺症患者さんの機能性便秘に対する漢方薬の効果」、「東日本大震災後の心的外傷後ストレス障害に対する漢方薬の効果」、「鍼灸による嚥下機能の改善効果」など最新の研究を報告しつつ、臨床に応用しています。